

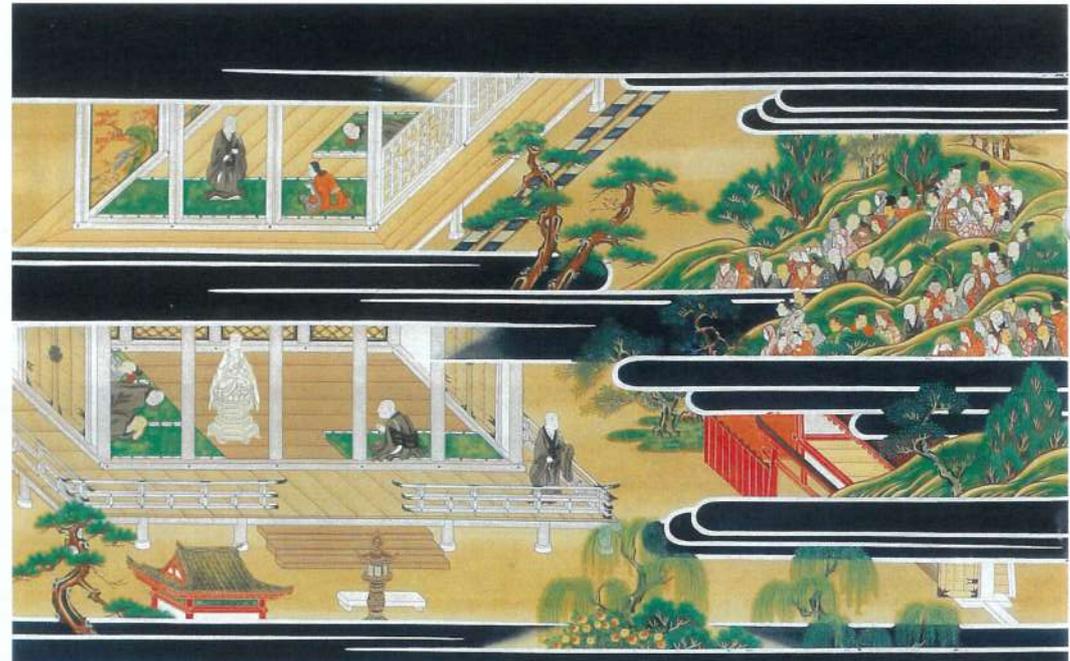
寺
ごよみ

十月

- 一日 板屋お講
- 二日 栗虫報恩講
- 三日 栗虫報恩講
- 六日 魚津報恩講
- 七日 富山報恩講
- 八日 経田・窪野・田家報恩講
- 九日 東狐報恩講
- 一〇日 東狐報恩講
- 十一日 清掃奉仕
- 十四日 上野報恩講
- 十五日 上野報恩講
- 一六日 三日市お講
- 一九日 善巧寺報恩講
- 二〇日 善巧寺報恩講
- 二二日 板屋報恩講
- 二三日 板屋報恩講
- 二四日 飯野・芦崎報恩講
- 二七日 石田・中新報恩講
- 二八日 石田・中新報恩講
- 三〇日 石田・中新報恩講
- 三一日 析澤報恩講

寺報
善巧
ぜんぎょう

発行
〒938-0862 富山県黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
URL <http://www.zengyou.net>



親鸞聖人の生涯を絵で表した御絵伝。報恩講にご安置します。

報恩講
十月十九〜二十日
空華忌
十一月十五〜十六日

九月からほんこさまが始まりました。ほんこさまは、正式には「報恩講」と言います。恩に報いる集い(講)ということですから、親鸞聖人のご恩に感謝する日であり、ひろげれば、聖人を大切にされた皆様のご先祖方に感謝する日とも言えるでしょう。

「本山、ならびに善巧寺では、親鸞聖人の祥月命日(二月十六日)に「御正忌報恩講」が勤まります。それに先立って行われる報恩講が「お取り越し報恩講」、善巧寺では十月十九日と二十日です。さらに、ご門徒さんのご自宅でつとめる在家報恩講。先人の方々がいかにか親鸞聖人を大事にされていたかということがよくわかります。

「前に生まれる人は後の者を導き、後に生まれる者は前の人をたすねよ」
たびたび法話でも引用される道練禪師の有名なお言葉です。親鸞聖人はこのお言葉を引用されて、「如来のお慈悲を仰いで信じ敬うべきである」と締められています。

子や孫へ

地方においても核家族が多数になり、「家」の在り方が大きく変化しました。インターネットであらゆる情報が拾える昨今、情報収集能力だけなら、十代で子は親を抜くでしょう。そんな付け焼刃の知識ではなく、生きる知恵を私たちは先人から受け継がれてきました。

私たちは、子や孫に何を残せるのでしょうか。二人のこどもに恵まれてから、そのことが頭から離れません。住職になり十五年ほど、振り返れば後悔や恥ずかしいことだらけですが、本当に伝えるべきことを腹に据えて、これからのを考えていきたいです。

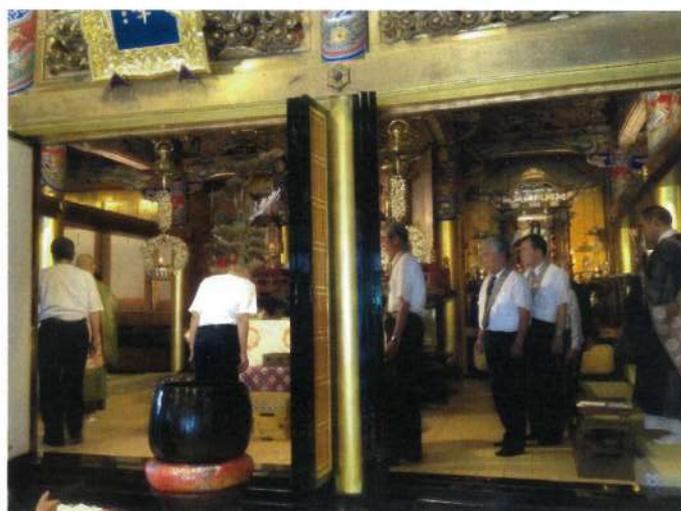
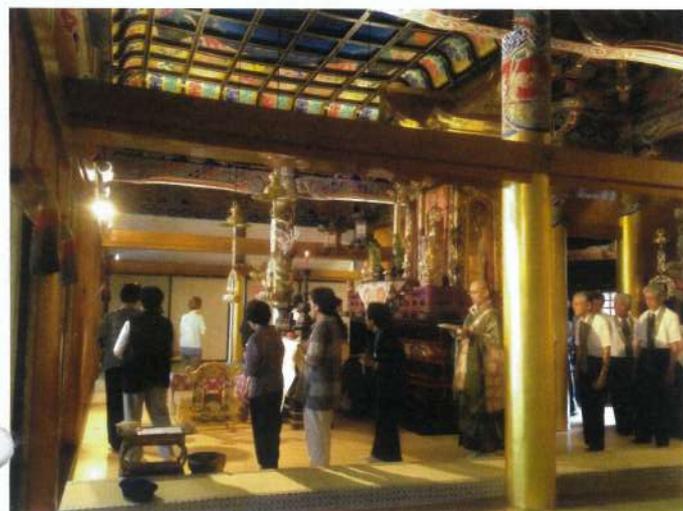
善巧寺住職 雪山俊隆

永代祠堂会

七月十六、十九日

芦崎の宗圓寺住職・浦田實磨師をご講師に迎え、今年も無事に永代祠堂会が勤まりました。二日目の総代物故

者追悼法要では、参拝者全員に内陣を練り歩いてケハをまいてもらいました。これは新川地区独特の大法事「こねんきさま」を踏襲した様式で、「あげ法事」でも見当される方に提案させていただこうと思っています。

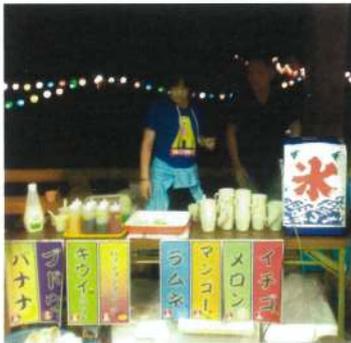




「盂蘭盆経」というお経を起源にもつ盆踊り。今年には雨のため本堂で開催しました。本堂の中は小さなお子様がいらっしゃる親も安心してくつろげるのがよいところです。

こども盆踊り

八月十七日



仏様に見守られる中、子供たちの笑顔がいっぱいでした。

仏様に見守られる中、子供たちの笑顔がいっぱいでした。



三十五年を迎える雪ん子劇団。夏の定期公演が無事に行われました。

雪ん子劇団公演

八月二十四日

寺 ごとみ

一 一月

一 二月

- 一日 愛本新お講
- 五日 栃沢報恩講
- 六日 栃沢報恩講
- 七日 栃沢報恩講
- 一日 中陣報恩講
- 二日 中陣報恩講
- 三日 出滑川報恩講
- 五日 空華忌
- 六日 浦山新お講
- 空華忌
- 一七日 浦山新報恩講
- 一八日 浦山新報恩講
- 一九日 浦山新報恩講
- 二〇日 浦山新報恩講
- 二五日 愛本新報恩講
- 二七日 愛本新報恩講
- 二八日 愛本新報恩講
- 一日 大橋報恩講
- 一日 下立愛本お講
- 三日 下村報恩講
- 四日 下村報恩講
- 五日 下村報恩講
- 六日 清掃奉仕
- 九日 下村報恩講
- 一〇日 下立愛本報恩講
- 一日 下立愛本報恩講
- 一二日 下立愛本報恩講
- 一五日 内山報恩講
- 一六日 浦山お講
- 一七日 内山報恩講
- 一八日 音沢報恩講
- 一九日 音沢報恩講
- 二九日 米とき
- 三〇日 もちつき

ご法事をご予定の方は、まず寺ごよみをご参照ください。お寺の行事日はご遠慮お願いします。在家報恩講（ほんこさま）は午前中に行うため、午後からのご法事は承ります。どうぞお電話でご相談ください。（善巧寺65-0055）

報恩講

報恩講とは浄土真宗門徒にとつて最も大切な親鸞聖人のご法事です。

十月十九日 午前十時、午後一時半
二十日 午前十時、午後一時半
講師 川崎 順正 師

※二十日は送迎バスが出ます。別紙をご覧ください。

空華忌

善巧寺十一世明教院僧 鎔法師のご法事です。

十一月十五日 午後一時
十六日 午前十時、午後一時
講師 佐々木 覚爾 師

浄土真宗の教学を深められ、地域の名士としても知られた僧鎔法師のご法事をこの縁に、仏法にあいましょう。



現在帖へご協力ください!

ご門徒の名簿をザッと調べてみると、30～40代の世帯が同居している家は10分の1ほどでした。

どうぞ、別居されている若い世帯の住所を教えてください。仏壇がないことは承知の上で、まず寺報をお送りすることから始めさせて下さい。みなさんと共に、次の代に何を残していくのかということを考えていきたいです。



わだかまりの心を洗い流そう

昔の仏たしい生活の中で心を洗い流そう。無縁感や不安な気持ちになることがあります。佛事を中心にして考えてみましょう。心のわだかまから解放され、安心できる暮らし、健康な暮らしを実現するための、心をこめてご法事です。

10月25日(土)

14:30～17:00 受付14:00～

内容 読経、天井御経、写経 境内清掃

対象 小学生以上の方(おひとりでも親子でも参加できます)

先着30名とさせていただきます。

内容 念佛(数珠)

境内清掃があります。お申し込みの際は、お申し込みください。

白雲山 善巧寺(浄土真宗本願寺派)

京都府京都市中京区497-1 TEL.0765-615-0956



お問い合わせ 公益社団法人 佛暦青年会 事務局 TEL.0765-54-0192

お申し込みは佛暦青年会(仏暦、佛暦青年、年輪)年報の上、電話、メール又はFAXにて、お申し込み下さい。先着30名とさせていただきます。

佛事は必ずお申し込みください。

徳高まる お寺体験

500円
(お食事代も込み)

清掃奉仕

十月十一日午前八時半

米とぎ

十二月二十九日午前八時半

報恩講準備

十月十八日午前九時

もちつき

十二月三十日午後九時

空華忌準備

十一月十五日午前九時

除夜の鐘 一月一日午前〇時
年頭参り 一月一日午前八時

合 掌

修復工事を終えて二年が経った今も、天井画の観覧に訪れる方がおられます。四月から九月までの半年間を振り返ると、その予約件数は法事とほぼ同数でした。一回一回が一期一会ではあります。が、せつかくのご縁ですから、次に繋がるようなことを考えていきたいと思っています。

秋は善巧寺の四大法要の二つ「報恩講」と「空華忌」がつとまります。一昨年は修復工事、昨年は大遠忌法要があったため、報恩講の日程が変則的でしたが、今年は例年にもどって十月十九日と二十日です。どうぞお参り下さい。

